



操作 順序	操 作 内 容	確 認 事 項	操 作 場 所	確 認
6	D/W ベントラインのラインナップを行う。 (1) ドライウエルベント弁用空気ボンベ出口弁 (MO-1601-223) 全開 (2) INBD DRYWELL VENT VALVE (AO-1601-1) 全開	Ⓡ点灯, Ⓞ消灯 #	AM. PNL 903	
7	D/W ベントを開始する。 (1) PCV ベント弁(MO-210) 25%調整開 a. 弁開度確認不可の場合は、インチング操作で5秒間開とする。(フルストローク 20秒) (ラプチャーディスク破裂圧力: 448kPa) b. 格納容器圧力が急激に低下したら、負圧にならないようにPCV ベント弁(MO-1601-210)を全開する。	Ⓡ点灯, Ⓞ点灯 D/W 圧力計 PI-1638 S/C 圧力計 PI-1636	AM. PNL # #	
8	格納容器圧力が上昇する場合は、PCV ベント弁(MO-1601-210)を増開する。 格納容器圧力が13.7kPa以下になる場合はD/W ベントを停止する。  (1) INBD DRYWELL VENT VALVE (AO-1601-1) 全開 (2) ドライウエルベント弁用空気ボンベ出口弁 (MO-1601-223) 全開 (3) PCV ベント弁 (MO-1601-210) 全開 尚、それ以前にTSCの判断により全閉とすることがある。	Ⓡ点灯, Ⓞ消灯 DRYWELL PRESS/ DRYWELL SUPPR DIFF PRESSURE 記録計 DP/PR-1602-20 Ⓡ消灯, Ⓞ点灯 # #	# 903 # AM. PNL #	
9	ベント操作中にSHC/CCS系が復旧した場合は、格納容器圧力が抑制できる段階で、D/W ベントを停止する。 *停止操作は操作順序8と同様。			
10	ベント操作後は、格納容器内の水素酸素濃度の監視を頻繁に行う。格納容器水素濃度が10%に到達した場合は、PCV 圧力が106kPa以下(FCS 運転時の制限圧力)であることを確認して、FCSを起動する。 FCSを起動後は、EOP「格納容器制御」(PCV 水素濃度制御)に従い、水素濃度を制御する。	CAMS 水素濃度10%以上(A/B)かつ 酸素濃度4.5%以上	CAMS PNL FCS PNL	
11	本操作中、D/W 水位が27mを超えると予想される場合は、外部水源からの注水を停止し、D/W ベントライン高さ(29m)-1.5m以下を確保する。 停止域水位計(LI-263-101)で100cm以下	停止域水位計 LI-263-101	AM. PNL 904	